

児童発達支援センターでの取り組み  
～ 児童発達支援から放課後等デイサービスへ～

こぐま園には、発達のアンバランスさがある2歳児から年長児の子ども達が、幼稚園・保育園と併行して通っています。

こぐま園の療育は、日々の活動の中で評価し、その子の学習スタイルを知り、必要な手がかりを支援として入れることで、集団の中で困りなく自信を持ってみんなと一緒に楽しく過ごすことを目的とした療育を行っています。

学習スタイルを知るために、こぐま園の様子だけではなく、親御さんや所属園の先生と連携を取り、いろいろな場面での様子も確認していきます。

子ども達が卒園後も理解ある中で過ごしていくために、親御さんが一番の支援者であってほしいと思います。そのために、保護者支援にも力を入れています。

まだまだ小さな年齢の我が子に“障害があるかもしれない…”という、大きな不安を抱えた親御さんに寄り添いながら、子どもを理解し、我が子への理解ある場を広げるために、就学後は親御さん自身が発信できる力を付けて頂きたいという思いで取り組んでいます。

児童発達支援センターこぐま園  
中塚 雅子